

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月6日

上場会社名 株式会社 多摩川ホールディングス
 コード番号 6838 URL <http://www.tmex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 昇
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部担当部長 (氏名) 白銀 寛
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月10日

上場取引所 JQ

TEL 0467-79-7027

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	3,400	—	△31	—	△47	—	△117	—
20年3月期第3四半期	2,493	—	10	—	37	—	50	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△22.33	—
20年3月期第3四半期	9.38	—

(注) 当社は、平成20年3月期第3四半期より連結財務諸表を作成しているため、平成20年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第3四半期	3,598	—	1,703	—	47.3	—	323.87	
20年3月期	4,996	—	2,055	—	40.9	—	389.11	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 1,703百万円 20年3月期 2,046百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
通期	4,320	7.7	△146	—	△150	—	△186	—	—	△35.37

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名))
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 (注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 5,461,000株 20年3月期 5,461,000株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 201,648株 20年3月期 201,160株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 5,259,590株 20年3月期第3四半期 5,390,749株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年5月30日に発表いたしました通期連結業績予想は、本資料において修正しております。本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、市場動向の変動や経済環境の変化など不確実な要因が含まれております。実際の業績は、業績予想とは異なる可能性があります。

2. 当連結会計年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国金融市場の混乱に端を発した実体経済の悪化が全世界に波及し、急速な円高も伴って、国内の多くの業種で不透明感が増しました。また、企業の生産計画見直し等による雇用調整が社会問題化するなど、急速な景況感の悪化につながりました。当社グループの関連する電子・通信用機器やHDD等への設備投資においても影響が懸念される状況にあります。

このような経済状況のもと、当社グループの主要な事業である電子・通信用機器の事業分野につきましては、携帯電話基地局関連の部品需要が、弱含みとなりましたが、次世代携帯電話のインフラに係る製品開発依頼の引合いが入るなど、明るい兆しも出てきています。地上波デジタル放送関連機器や防衛関連機器につきましては安定的な需要がありました。

レーザー機器につきましては、主要顧客が、米国をはじめとした世界景気の低迷の影響を受けて設備投資を手控えたことから、販売は低迷しました。

当社グループといたしましては、収益重視の観点のもとに営業・生産活動を行い、この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は3,400百万円となりましたが、景気の悪化に伴い、営業利益は△31百万円、経常利益は△47百万円となりました。四半期純利益につきましては、△117百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

①電子・通信用機器事業

当第3四半期連結累計期間におきましては、フィルターなど携帯電話基地局関連の部品が、需要及び価格の低下に伴い、受注が減少し、売上高は2,555百万円となりました。一方、デジタル防災関連やWIMAX等の新たなインフラの立ち上げ等明るい兆しも出てきています。

売上原価、販売費及び一般管理費につきましてはそれぞれ、2,060百万円、601百万円となっており、営業利益は△106百万円です。

②レーザー機器事業

レーザー機器事業の売上高につきましては、844百万円となっております。主な売上先は国内及びアジア諸国の顧客への販売であり、製品別ではレーザーインデックスマーキング(LIM)及び消耗部品となっております。

売上原価、販売費及び一般管理費につきましてはそれぞれ、569百万円、308百万円となっており、営業利益は△34百万円です。

③その他事業

その他事業の売上高につきましては、315百万円となっております。主な内容は、子会社に対する経営指導料であります。営業利益は108百万円となっております。

所在地別セグメントの状況につきましては、事業の種類別セグメントの電子・通信用機器事業が「日本」、レーザー機器事業は「シンガポール」となっておりますが、レーザー機器の一部につきましては、日本国内にて販売を行っております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の分析

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,398百万円減少し、3,598百万円となりました。

これは主に、仕掛品及び製品在庫の減少、及び海外子会社で計上している無形固定資産について、親子会社間の会計処理の統一のため、国際会計基準から我が国の会計基準を適用することとなった結果によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ1,046百万円減少し、1,895百万円となりました。

これは主に、買掛債務の減少を中心とした流動負債の減少によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の部は、前連結会計年度末に比べ351百万円減少し、1,703百万円となりました。

これは主に、前述の無形固定資産について国際会計基準から我が国の会計基準に修正をおこなった結果、対応する株主資本の控除を行った結果によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高（以下「資金」という。）は637百万円となり、前連結会計年度末と比較して36百万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、35百万円となりました。

これは主に、売上債権の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、1百万円となりました。

これは主に、有価証券の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、3百万円となりました。

これは主に、短期借入金の増加によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期通期の業績予想につきましては、経営環境が大きく変化をしておりますので、これらの経営環境の変化を踏まえて精査いたしましたところ連結売上高の予想といたしましては、4,320百万円を見込んでおりますが、営業損失146百万円、経常損失150百万円及び当期純損失186百万円と予想しております。

なお、平成20年5月30日の決算短信で発表しました通期の連結業績予想との差異は以下の通りです。

(通期)

	売上高	営業損益	経常損益	当期純損益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,870	129	71	63	11 98
今回修正予想 (B)	4,320	△146	△150	△186	△35 37
増減額 (B-A)	450	—	—	—	—
増減率 (%)	11.6	—	—	—	—
前期実績	4,012	118	108	△408	△76 22

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① たな卸資産の棚卸高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出につきましては、一部実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切り下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切り下げを行う方法によっております。

② 定率法を採用している減価償却資産の減価償却方法

当連結会計年度にかかる減価償却費の額を期間按分する方法により当第3四半期連結会計期間の減価償却費を計算しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」

（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

これにより、損益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	742,573	706,022
受取手形及び売掛金	1,298,509	2,045,880
有価証券	—	255,820
製品	118,509	157,671
原材料	121,074	72,851
仕掛品	266,316	349,552
その他	53,340	134,092
流動資産合計	2,600,324	3,721,890
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	496,249	494,103
減価償却累計額	△331,340	△320,067
建物及び構築物（純額）	164,909	174,035
工具、器具及び備品	1,072,119	1,245,327
減価償却累計額	△795,824	△787,583
工具、器具及び備品（純額）	276,295	457,743
機械装置及び運搬具	86,436	60,417
減価償却累計額	△50,220	△34,685
機械装置及び運搬具（純額）	36,216	25,732
土地	197,903	197,903
有形固定資産合計	675,324	855,415
無形固定資産		
ソフトウェア	27,092	29,620
その他	22,121	293,333
無形固定資産合計	49,214	322,953
投資その他の資産		
投資有価証券	258,227	89,690
その他	24,414	15,563
貸倒引当金	△8,804	△8,604
投資その他の資産合計	273,837	96,649
固定資産合計	998,376	1,275,019
資産合計	3,598,700	4,996,909

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	613,385	1,300,515
短期借入金	277,205	—
1年内返済予定の長期借入金	183,060	270,018
1年内償還予定の社債	133,600	133,600
未払金	182,114	252,626
未払法人税等	1,811	70,700
賞与引当金	13,788	26,119
その他	44,779	239,024
流動負債合計	1,449,745	2,292,604
固定負債		
社債	182,900	266,400
長期借入金	112,945	173,947
繰延税金負債	2,591	8,485
退職給付引当金	68,032	69,153
その他	79,121	131,162
固定負債合計	445,591	649,149
負債合計	1,895,336	2,941,753
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,029,413	1,029,413
資本剰余金	1,023,804	1,196,022
利益剰余金	△328,759	△119,247
自己株式	△59,987	△59,924
株主資本合計	1,664,469	2,046,263
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,444	△231
為替換算調整勘定	35,449	638
少数株主持分	—	8,486
純資産合計	1,703,363	2,055,156
負債純資産合計	3,598,700	4,996,909

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	3,400,082
売上原価	2,630,360
売上総利益	769,721
販売費及び一般管理費	801,471
営業利益	△31,749
営業外収益	
受取利息	1,480
受取配当金	21,923
その他	7,534
営業外収益合計	30,939
営業外費用	
支払利息	38,903
為替差損	7,795
営業外費用合計	46,698
経常利益	△47,509
特別利益	
固定資産売却益	4,008
特別利益合計	4,008
特別損失	
固定資産除売却損	3,336
投資有価証券評価損	30,585
のれん償却額	36,449
その他	200
特別損失合計	70,570
税金等調整前四半期純利益	△114,071
法人税、住民税及び事業税	5,001
法人税等合計	5,001
少数株主損失(△)	△1,604
四半期純利益	△117,468

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△114,071
減価償却費	136,515
のれん償却額	36,449
受取利息及び受取配当金	△23,404
支払利息	38,903
為替差損益(△は益)	7,795
投資有価証券評価損益(△は益)	30,585
売上債権の増減額(△は増加)	645,636
たな卸資産の増減額(△は増加)	64,021
仕入債務の増減額(△は減少)	△598,428
その他	△113,000
小計	111,001
利息及び配当金の受取額	22,084
利息の支払額	△39,277
法人税等の支払額	△58,361
営業活動によるキャッシュ・フロー	35,447
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	10,335
定期預金の預入による支出	△10,368
有価証券の売却による収入	255,820
有価証券の取得による支出	△201,339
有形固定資産の売却による収入	58,542
有形固定資産の取得による支出	△64,313
子会社株式の取得による支出	△36,449
その他	△14,087
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,860
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	266,916
長期借入れによる収入	100,000
長期借入金の返済による支出	△233,896
社債の償還による支出	△83,500
リース債務の返済による支出	△45,851
その他	△63
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,606
現金及び現金同等物に係る換算差額	△675
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	36,517
現金及び現金同等物の期首残高	601,214
現金及び現金同等物の四半期末残高	637,732

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年12月31日）

	電子・通信用 機器事業 (千円)	レーザー機器 事業 (千円)	その他 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社(千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,555,855	844,226	—	3,400,082	—	3,400,082
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	315,000	315,000	(315,000)	—
計	2,555,855	844,226	315,000	3,715,082	(315,000)	3,400,082
営業利益又は営業損失(△)	△106,307	△34,066	108,624	△31,749	—	△31,749

(注) 事業区分の方法

事業は、製品の種類・用途により区分しております。

〔所在地別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年12月31日）

	日本 (千円)	シンガポール (千円)	計 (千円)	消去又は全 社(千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,784,528	615,553	3,400,082	—	3,400,082
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	190,392	190,392	(190,392)	—
計	2,784,528	805,945	3,590,474	(190,392)	3,400,082
営業利益又は営業損失(△)	21,687	△53,437	△31,749	—	△31,749

(注) 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

〔海外売上高〕

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	東南アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	615,553	10,015	625,569
II 連結売上高（千円）	—	—	3,400,082
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	18.1	0.3	18.4

（注）1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

海外子会社で計上している無形固定資産について、親子会社間の会計処理の統一のため国際会計基準から我が国の会計基準を適用するのに伴い利益剰余金及び少数株主持分を減少させております。

なお、当該減少させた利益剰余金の金額は264,262千円、少数株主持分の金額は11,118千円であります。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(千円)
I 売上高	2,493,651
II 売上原価	2,109,916
売上総利益	383,735
III 販売費及び一般管理費	373,487
営業利益	10,248
IV 営業外収益	36,216
V 営業外費用	8,841
経常利益	37,622
VI 特別利益	18,689
VII 特別損失	12,257
税金等調整前四半期純利益	44,054
税金費用	△6,513
四半期純利益	50,568